

東日本大震災で被災された皆様へ

このたび東日本を襲った巨大地震と津波により被害を受けられた皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになられた方々とそのご家族の皆様に深く哀悼の意を表します。

本学学生、卒業生等の学園関係者の皆様・ご家族をはじめ、すべての罹災者の方々の生活が一日も早く平常に復することをお祈り申し上げますとともに、本学としても真摯に対応策を協議し、全学生の安全確認・安全確保を最優先事項として、教育機関としての責務を果たす所存であります。

被災地の皆様におかれましては、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、一日も早い復興と被災された方々の安全と健康を祈念いたしております。

平成23年3月22日

学校法人 高千穂学園
理事長 **藤井 耐**
高千穂大学
学長 **成田 博**

募金活動について

今回の大震災は広範囲に渡る地域に重大な人的・物的損失をもたらし、未曾有の大災害となっており、本学園においても、被災した地域から多くの学生を受け入れていることを鑑み、義援金を募ることといたしました。なお、皆様よりいただく義援金は、修学継続の一助となるよう、被災した学生（家庭）に交付させていただきます。

義援金の受付につきましては、「東日本大震災義援金」と称し、4号館1階・2階事務局、10号館1階講師控室、セントラルスクエア・インフォメーションの4か所に募金箱を設置して5月31日（火）まで行うこととさせていただきます。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

なお、学園関係者及び教職員、卒業生の皆様の受付は別途ご案内している口座への振込となります。

春学期



4月25日～4月29日 web履修登録



5月1日 入学式



5月28日 体育祭

月	日	曜	行	事
4月	1	金	学年開始	
	11	月	ゼミ(ゼミⅠ・専門ゼミ)授業開始	
	12	火	定期健康診断(1～3年生対象)【～15日まで】	
	14	木	日本学生支援機構奨学金新規申込者ガイダンス	
	25	月	2・3・4年生以上履修ガイダンス 1年生Web履修登録(～29日までゼミⅠ別)	
	26	火	2年生Web履修登録日	
	27	水	3年生Web履修登録日	
	28	木	4年生以上Web履修登録日	
	29	金	在学生Web履修登録予備日	昭和の日(通常授業)
5月	1	日	入学式	
	2	月	春学期全授業開始【～7月21日まで】	
	3	火		憲法記念日(全学休講)
	4	水		みどりの日(全学休講)
	5	木		こどもの日(全学休講)
	6	金	トレーニングルーム利用講習会①	
	9	月	トレーニングルーム利用講習会②	
	16	月	トレーニングルーム利用講習会③	
	27	金		学園創立記念日(通常授業)
28	土	体育祭(予備日6月4日)		
6月	23	木	六月祭【～25日まで】	
7月	2	土	春学期学友会競技大会	
	4	月	春学期放課後補講開始【～21日まで】	
	18	月	春学期補講	海の日(補講実施日)
	21	木	春学期授業終了日	
	22	金	春学期補講	
	25	月	春学期定期試験【～30日まで】	
8月	1	月	春学期追試験【～6日まで】	
	7	日	夏季休業【～9月20日まで】	
9月	上旬		春学期卒業認定者発表 卒業対象者のみ成績質疑受付【当日のみ】	
	5	月	秋学期履修登録(Web登録)【～17日まで(予定)】	
	21	水	秋学期授業開始【～1月23日まで】 秋学期履修変更期間【～27日まで】	
	23	金		秋分の日(通常授業)
	30	金	春学期卒業証書・学位記授与式 秋学期学費納入期限	

秋学期

月	日	曜	行 事
10月	上旬		1年生対象コース(新ゼミ員募集)ガイダンス
	10	月	体育の日(通常授業)
	20	木	高千穂祭準備(全学休講)
	21	金	高千穂祭(全学休講)【～23日まで】
	24	月	高千穂祭片付(全学休講)
	26	水	秋学期学友会総会
11月	3	木	文化の日(全学休講)
	上旬		平成23年度教職課程履修ガイダンス
	7	月	ゼミ発表会【～11日まで】
12月	23	水	勤労感謝の日(全学休講)
	1	木	卒業論文提出受付開始【～1月13日まで】
	3	土	三高商定期戦表彰式
	17	土	ECBスピーチコンテスト、IBCS研修生プレゼンテーション(ICE)
	20	火	秋学期放課後補講開始【～1月23日まで】
	23	金	天皇誕生日(全学休講)
1月	25	日	冬季休業【～1月9日まで】
	1	日	(元旦)
	9	月	成人の日(全学休講)
	10	火	授業開始
	13	金	卒業論文提出期限
	14	土	大学入試センター試験(全学休講)【～15日まで】
	17	火	秋学期補講【～18日まで】
	23	月	秋学期授業終了日
2月	24	火	秋学期定期試験【～2月1日まで】
	2	木	秋学期追試験【～2月8日まで】
3月	11	土	建国記念の日(全学休講)
	5	月	秋学期卒業認定者発表 卒業対象者のみ成績質疑受付【当日のみ】
	20	火	卒業式 春季休業【～3月31日まで】
	30	金	次年度春学期学費納入期限

※ 4/29(金)昭和の日・5/27(金)学園創立記念日・9/23(金)秋分の日・10/10(月)体育の日は通常授業。7/18(月)海の日は補講実施日とする。



10月21日～10月23日 高千穂祭



11月7日～11月11日 ゼミ発表会



12月17日 ICE



3月20日 卒業式



祝入学

—大学生活4年間は、生涯の「礎」であることを認識されたい—

理事長

藤井 耐

東日本大震災により本年の入学式は5月1日となりました。本震災により尊い生命を奪われた方々に心より哀悼の意を捧げますと共に、被災者の皆様に心より御見舞い申し上げます。又、本学入学生及び、在籍学生にも罹災者がおりますが、どうぞ、この苦難を乗り越えて頂きますようお願いしております。

さて、平成23年度は、学部生595名(商・経営・人間科学部)、大学院生修士課程44名、博士後期課程1名、併せて640名の新入生を迎えることができました。心より御祝い申し上げますと共に、歓迎致します。

入学式式場においても伝えましたように、君達が現在生きている今日及び将来の日本社会の特徴は大きく四点に集約できるものと思います。

すなわち、第一は、少子高齢化・長寿化、第二は、産業・市場の成熟化、停滞化、第三は、経営のグローバル化・国際化、そして第四は、高学歴化(同一世代50%を越える大学進学率)です。

これ等日本社会の人口構造上、経済・経営上の特徴は、既に、いくつかの大きな病理現象を顕著化させているのです。その一つが、15歳から35歳の若者世代にみる就労・雇用状況の病理です。①完全失業率(仕事をする意思もあり、就職活動もしているが就職できない。)約61万人、②フリーアルバイター(仕事はしているが、正規従業員ではなく、アルバイト、パートタイマー、契約社員、季節工・期間工等、非正規従業員)約417万人、そして、③ニート(仕事をする意思もなく、仕事に就くための職業訓練及び、学校教育も受けていない)約84万人、併せて560万人(約23%)の若者が、正規社員と

しての雇用に「就けない」、「就かない」という状況にあるのです。前述の日本社会にみる今日の特徴の第二、第三、第四の要因(状況)が密接に連動した結果です。

さらに、懸念すべきことは、第1の少子高齢化・長寿化です。人々の寿命が長寿化することは、すばらしいことです。しかし、長寿(化)を真に喜ぶための条件は、「精神的・身体的健康」と、「経済的条件」が共に準備されているということです。特に、後者の「経済的条件」は、若い世代からの蓄積により実現できるのです。560万人を越える若者達の今日、そして、将来の経済的基盤はどうなるのでしょうか。君達は、親御様の支援により、大学に進学できたことを改めて感謝してください。決して無駄にしないでください。同一世代約51%の若者が大学に進学する高学歴社会ではありますが、角度を変えてみるなら未だ50%前後の若者が大学へ進学されていないのです。君達は、将来の「礎」を築くための主たる方法(手段)の一つである「大学進学」を実現させて頂いているのです。高千穂大学における4年間で充実させてください。①「知(識)」を習得・蓄積し、②「情」(他者への思いやり・優しさ)を有し、③「意(思力)」(自らの役割行動を継続する精神力)を培い、④「行(動)」(学生としての役割行動)を実践し、⑤「倫(理)」(社会人(学生)としての倫理・マナー)を育み、⑥「責(任)」意識を持ち、⑦「配(慮)」(他者の立場・考えを理解・尊重しうる知的行為)行動といった『人間力(資質)』の基礎をこの4年間で醸成してください。言葉に発することもなく、唯々胸の奥で君達の成長を楽しみにされている父親・母親のために、そして君達の人生のために。



祝入学 - 大いなる成長を期待して -

学長

成田 博

東日本大震災により被害を受けられた皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、すべての罹災者の方々の生活が一日も早く平常に復することを心よりお祈り申し上げます。

震災の影響により入学式は5月となりましたが、高千穂大学は今年度、学部（編入生含む）、大学院、合わせて643名の新しい仲間を迎えました。大学を代表して、皆さんのご入学を歓迎いたしますとともに、心よりお祝い申し上げます。

大学は学問を修める場であり、この4年間で多くの専門的知識や能力を身に付けることが最も重要です。しかし、大学時代とは友人や恩師と出会い、将来のことや人生について語り合うことによって、学問以外の多くのことを学び、経験する期間でもあり、それぞれの考え方や価値観を形成するための場であるともいえます。そして、その価値観の形成とともに皆さんが人としても大きく成長するという、人間・人格形成にとっても重要な意味を持つのが大学の4年間なのです。

東日本大震災では、電気や水道といったライフラインが破壊され、突然私たちは不便な生活を強いられることとなりました。自然の脅威の前では人間の力が如何に弱いものかを痛感させられ、物の豊かさや便利さを追求することへの反省も含め、改めてこれまでとは異なる考え方や価値観が求められることとなるかもしれません。

皆さんはこれまで、記憶力を問われる勉強に嫌気がさしたこともあったかもしれません。し

かし、大学での勉強、学問では、知識を前提とはしますが、その知識をどのように判断・活用するか、物事をどのように捉え・考えるかを学ぶのであり、結果として、何を重要と考えるのか、何に価値を認めるのかといった価値観の形成へと発展していくこととなるのです。

本学では商学、経営学、人間科学の専門領域はもとより、幅広い学問領域の科目が用意されており、講義では多様なものの見方、考え方に触れることができます。また、ゼミナールなどで多くの先輩や仲間、そして先生と議論することで、次第に皆さんそれぞれの考え方、価値観が形成されていくこととなります。大学時代における様々な経験の中で形成される価値観は、本学の学風の目標にもあるような、偏りのない、バランス感のあるものとなるでしょう。そして、その価値観は、皆さんを社会性や協調性、さらには倫理観を備えた人へと大きく成長させてくれることとなるはずです。

価値観の形成、人としての成長のためにはどのように大学生活を過ごしたら良いのでしょうか？ 当然のことといえますが、最も基本的かつ大切なことは講義に出席するということです。きっと皆さんの知的好奇心を刺激するような講義あるいは先生に出会えるはずです。

皆さんは大学で学ぶ機会を提供して頂いたご家族への感謝の気持ちを忘れずに日々努力を重ね、4年間の大学生活で、多くの知識、能力を身に付けるとともに、人としても大きく成長されることを心から期待しています。